



# 青南だより

令和4年 5月号

港区立青南幼稚園

園長 新山 裕之

## <うれしい成長を感じる日々>

今年は年中組が1階で生活をしています。朝、バラ門からポテポテと歩く年少児の横を、保育室に向かって一人でしっかりと歩く年中児の姿があります。送って来た保護者の皆さんとその後ろ姿を眺めながら、成長をうれしく共有しています。年少児がトイレの前で待っていると、先生と一緒に手遊びをしてくれたり、ベンチを運んでくれたりもしています。様々な状況を想定して1階での生活を選択しましたが、年度替わりのストレスを最低限に抑え、落ち着いた生活を始められています。

## <異学年の自然な関わりも>

年中児は、年少児との関わりから、自分たちがお兄さんお姉さんになったことを直接、感じています。一方で、年長児は遊戯室でも遊び、園庭への出入りも年中組の目の前ですから、年中児は年長児の様子を垣間見て、様々な刺激をもらっています。園庭でも年長児と一緒に遊んだり、年少児の初めての砂遊びの様子を見守ったりする関わりが自然な形で生まれています。それぞれの立場で、異学年の自然な交流もできており、たくさんのおすてきな効果が生まれています。

## <誕生日は、ありがとうの日>

私は担任時代から、誕生会では「今日はおめでとうとお祝いしてもらえる日だけれど、あなたが元気に幼稚園に通えるのはお母さん、お父さん、お家の人のお陰だよ。だから、『産んでくれてありがとう、育ててくれてありがとう』と言う日だよ」と話しています。子どもが元気に育つことは決して当たり前ではなく、有り難いことなのです。さらにこどもの日は、母の日でもあるのです。国民の祝日に関する法律では、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福を図るとともに母に感謝する日」と定められているのです。

・・・皐月（さつき）・・・

りっか  
しょうまん

立夏（5日）… 初夏の風を受けてこいのぼりが泳ぎます …

小満（21日）… 園庭の緑がぐんぐん膨らみます …

5月5日はこどもの日です。子どもたちの健やかな成長を願い園庭にこいのぼりが泳ぎます。園庭のあちこちで、動けないはずの草や木々が、命を輝かせ嬉々として活動している声が聞こえるような季節です。草花の前でちょっとしゃがんで、相手の目線に合わせて見ると、意外な真実が見えてきます。実はこれ、子どもと関わる私たち教師にとっては、基本の構えでもあるのです。

青南の  
二十四節気



朝、自信をもって保育室に向かう年中児



年少児のトイレの後の手遊びを手伝う年中児



年少児の園庭デビューは年長児が優しくエスコート



年長児が友達と相談し協力して作ったこいのぼり



大きく育ったキヌサヤを収穫して、いただきます